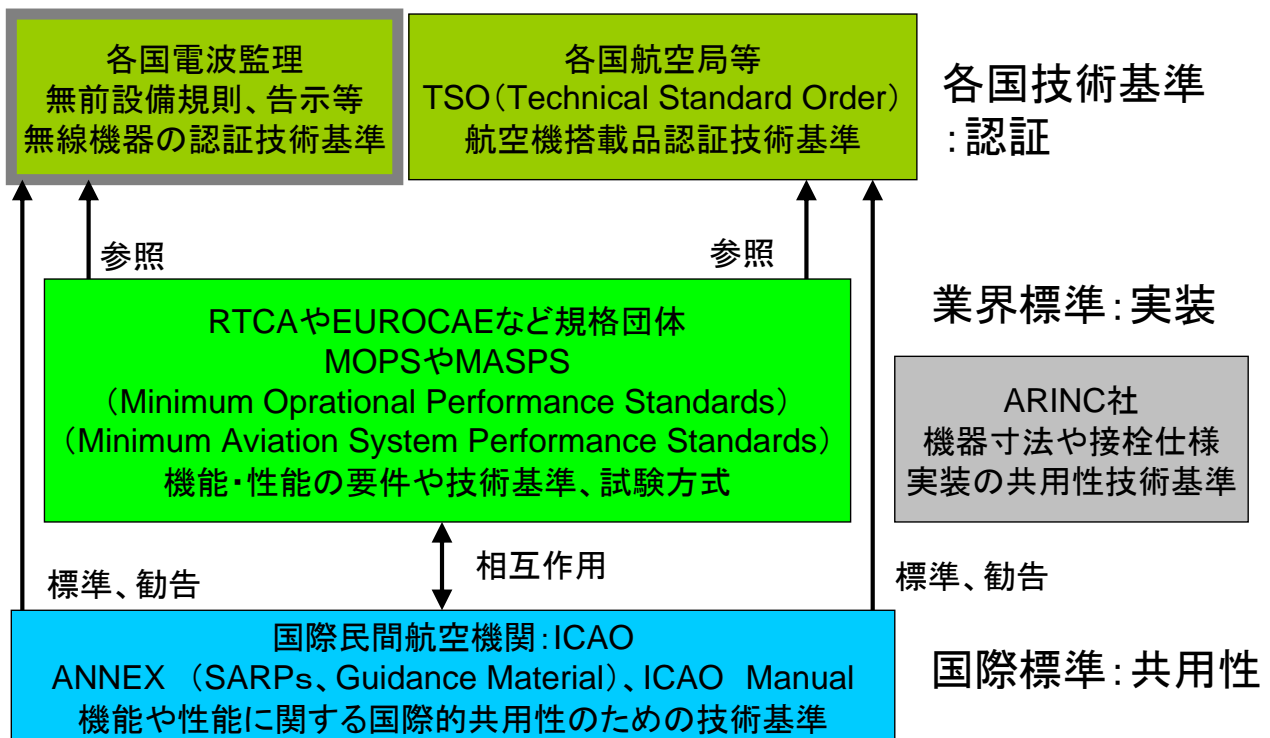


SSRモードSに関する国際標準

独立行政法人
電子航法研究所

各種国際標準の位置づけ



ICAO ANNEX10 Amendment 67

- 1987年: SSRモードSを含む最初の規格
 - Volume I のSSRの項目にモードS関連事項追記
 - SSRモードSおよびACAS関連信号形式規定
 - 基本的なモードSプロトコル等を規定
 - モードSアドレスの国識別符号を割り当て

1988年 昭和63年 航空無線通信委員会答申に反映
SSRモードS関連事項を無線設備規則等に追記

ICAO ANNEX10 Amendment 73

- 1995年Volume-IVにACAS関連事項を追記
- 第6回SICASパネル会議(1997年)勧告対応
- 1998年Volume構成変更
 - SSRとACAS関連機器はVolume-IV
 - モードS拡張スキッタ信号の追記
 - 応答周波数許容値改定(当時の現場機器未対応)
 - SSRモードSプロトコルとフォーマットの改良
 - ACAS干渉制限方式や衝突回避アルゴリズムを改定
 - モードS拡張スキッタを使用するACAS複合監視方式追記(当時は詳細な機器実現方法を検討中)

2001年 平成13年航空無線通信委員会答申に反映
無線設備規則等のACAS関連事項を改訂
応答周波数許容値の改定は要確認

ICAO ANNEX10 Amendment 77

- 第7回SICASパネル会議(2000年)勧告への対応
- 2002年 Volume-IV 改訂
 - トランスポンダ以外の送信機器用にモードS拡張スキッタ信号を規定
 - 軍用のモードS拡張スキッタ信号を規定
 - ACAS干渉制限方式に若干の改定
 - モードSプロトコルとフォーマットの改良と誤解防止
- 2002年 Volume-III 改訂
 - モードS拡張スキッタ符号詳細を記載 (暫定的)

無線設備規則等は未対応

ICAO ANNEX10 Amendment 82

- 第1回SCRSパネル会議(2004年)勧告への対応
- 2007年末改訂準備中
 - モードS拡張スキッタ送受信機器の一般的要件を追記
 - SSRモードS初期捕捉プロトコル等とフォーマットの改良を追記(さらに改定の可能性有り)

注意:ADS-Bを用いる監視方式の応用手法は開発または評価検証中であり、応用手法の改善に伴うフォーマットの改定は今後も頻繁に予想される。

注意:同様に、モードSトランスポンダ以外のモードS拡張スキッタ送信機器の一般的要件は、その応用目的から導かれる要件の影響を受けるため、今後の改定が予想される。

注意:これらのフォーマット等信号内ビット配置は電波の質に影響しない

無線設備規則等は未対応